

現 状

あっぱれ

第18号

編集・発行
顧問 中村 悠太

一心同体〜全員野球〜

秋季大会以降勝ち星がありません。練習の雰囲気は良いのですが試合は勝てません。技術も確実に向上しているはずなのに勝てません。勝ちきれません。大敗をするわけではありません。あの回を境にエラーが出る、打てない、声が出ない(無い)、雰囲気が悪くなり自滅する...このような試合が多いです。提出してもらっている野球ノートもその日にあったことが箇条書きに書かれていてのみでひどい者は一、二行で字も読めません。おそろしく提出締め切り直前に書いたのでしょうか。私や廣瀬先生の話

覚えていますか。私は試合があったその日に時間を作って記憶が鮮明なうちにしっかりと振り返りをしよう、自分自身と対話をしようと言いました。廣瀬先生からは試合が始まる前に目標をたてよう、気持ちが出ない、シティブなうちに自分が試合ですべきことを書こうという話がありました。その日のうちに自分と対話して書いていますか。目標を立てていますか。しっかりとやっているとは思えません。自分自身がどのような気持ちだったのか、現状がどうなのかを認めるために野球ノ

ートを書かせているのにこれでは意味がありません。現在地が分かっていない人は目的地にはたどり着けません。考えてみてください。どこかの森へ連れていかれて目的地を目指してくださいと言われたらたどり着けますか。しっかりととした目標、それに対する自分の現在地が分からなければチームや自分のプレ

ーは良くなりません。もう一度気を引き締め、覚悟をもって部活に取り組んでください。状況が変わらなければ野球ノートは辞めません。練習内容も変更します。冬季リーグの二日目にミーティ

ングで聞きました。君たちは険しい道を選びました。何かを得るためには代償が必要です。勝つということとは与えられるものではなくつかみ取るものです。手を汚し、汗だらけになって自分の時間を使ってこそ勝利です。一人の生徒が言いました。意識改革が必要です。改革とは現時点での基本的な体制を保ちつつ、内部に変化を作ることを言います。大切なことは「内部」ということです。やはり自分たちなのです。外部ではないのです。外的なもの、他人はそう簡単には変わりません。まずは自分が変わっ

てください。しばらくはチームより「自分」に目を向けてください。素晴らしい「個」が集まったものがチームです。良いチーム(組織)にするにはもちろん私も力を貸します。最後に、失敗したことやうまくいかないことに言い訳をつけている気がしません。言い訳をしたり、どこか痛そうにしてみたりとそのような場面を試合中に見かけます。原因は全て自分のせいです。失敗を無駄にせず二度と繰り返さないように考え行動するしかないです。「自分で決めたことは迷わず動く。た